



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



洗礼の恵みに気づき、それを生きよう(3)

2024年 年間目標

鹿兒島教区司教 中野裕明

教区の皆さま、お元気で
しようか。
今回は「天の父の子であ
ることの自覚」についてお
話します。

前回は洗礼者ヨハネの洗
礼についてお話ししました
が、今回は「イエスの名に
よる洗礼」についてお話し
します。

聖霊が使徒たちの上に降
った後、ペトロは民衆に向
かって「先日、エルサレム
で十字架刑にあったナザレ
のイエスこそ、預言者たち
が語っていた来たるべき救
い主である」ことを声を張
り上げて話したところ、

「人々は、これを聞いて大
いに心を打たれ、ペトロと
ほかの使徒たちに、『兄弟
たち、わたしたちはどうし
たらよいのですか』と言っ
た。すると、ペトロは彼ら
に言った。『悔い改めなさい
。めいめい、イエス・キ
リストの名によって洗礼を
受け、罪を赦していただき
なさい。そうすれば、賜物
として、聖霊を受けま
す。』」(使徒言行録2・

37-38)

これで分かるのは、洗礼
者ヨハネの洗礼は、彼自身
が授けるものでしたが、イ
エスの名による洗礼は、イ

エス自身ではなく、イエス
が選び、聖霊を受けた使徒
たちによって授けられるも
のだという事です。

これは聖霊によるもの
で、洗礼者ヨハネの「悔い
改めのしるしとしての洗
礼」とは区別されます。
(マタイ3・1-12、マル
コ1・1-8、ルカ3・15
-17、ヨハネ1・19-28参
照)

では、「聖霊による洗
礼」とはどのようなもので
しょうか。

先ず端的に言って、聖霊
は神の霊ですが、イエスの
誕生から十字架までの死に
至る時までにはイエスの中
に籠っていました。イエス自
身、聖霊のことを、自分の
弁護者であると弟子たちに
紹介しています(ヨハネ
14・15-31参照)。自分が
この世からいなくなるなら
い、聖霊は来ないのです。聖
霊は復活したイエスによっ
て使徒たちに与えられまし
た(ヨハネ20・19-23参
照)。その特徴は、罪のゆる
しです。

「聖霊を受けなさい。だ
れの罪でも、あなたがたが
赦せば、その罪は赦され
る。だれの罪でも、あなた
がたが赦さなければ、赦さ

れないまま残る」(ヨハネ
20・22-23)

イエスのこの言葉の前段
も非常に大切です。
すなわち、「『あなたが
たに平和があるように。父
がわたしをお遣わしになっ
たように、わたしもあなた
がたを遣わす。』そう言っ
てから、彼らに息を吹きか
けて言われた。」(同上21
節)

この場面に立ち会った弟
子たちは、このとき何を感じ
取ったのでしょうか。

彼らは、師であるイエス
が捕らえられ殺されたの
で、次は自分たちの番だ
と思ひ、「ユダヤ人を恐れ
て、自分たちのいる家の戸
に鍵をかけていた。」(同
上19節)のです。従って、
復活したイエスが発した最
初の言葉は、「平和」でし
た。

平和は安心の根源であ
り、師であるイエスを見捨
てた弟子たちへの和解のこ
とばでした。さらに、彼ら
に息を吹きかける仕草は、
創世記にある最初の人間の
創造の場面(創世記2・
7)を思い出させるもので
す。これは最初人間が命
の与え主である創造主との
絆を断つたことにより、罪

と死の谷間を彷徨うようにな
った人間の再生を意味して
います。ある人はそれを第
2の創造と命名していま
す。

ところで、キリスト教信
仰の核心は、言うまでもな
く「イエスの復活」です。
なぜかという点、イエスの
復活によって、天地万物の
創造主である全能の神の全
容が明らかになったからで
す。

ただ今回は、イエスの発
したメッセージ(福音)か
ら洗礼の恵みについて考え
ていきたいと思います。
約3年間の地上での宣教
活動で発信されたイエスの
メッセージの主旨はただ一
つ、それは「あなたたちが

信じ礼拝している神は、わ
たしの父であり、また、あ
なたたちのお父さんであ
る」ということです。
実はこのことを強調し
きたために、ユダヤ教の指
導者たちから睨まれ、つい
には殺される羽目になった
と言えます。(ヨハネ5・
16-18参照)

つまりイエスは命を懸け
て、このことを私たちに告
げたかったのです。福音書
を一読すれば分かること
ですが、イエスの説教はほと
んどが、天の父についてで
す。勿論、天の父は肉眼で
は見えませんが、生けるも
のを養っておられる方(マ
タイ6・25-34参照)だけ
ではなく、「隠れたことを
見えておられる父」であり、
私たちの隠れた行いを見て
「報いてくださる」(マ
タイ6・4参照)のです。
極めつけは「主の祈り」
です。祈り方を求められた
イエスが教えてくださった
この祈りは、ご存じのよう
に「天におられるわたした
れるなどし、その後のミサ
で締めくくられた。なお、
このミサでは1月8日に天
に召された久保俊弘終身助
祭を追悼した。(年間行事
予定は4面に掲載)

性虐待対応ガイドラインを学ぶ

2年ぶりの教区司祭大会

鹿兒島教区で働く司教、
司祭、助祭が一堂に会して
研修し交流する「司祭大
会」が1月29日(月)と30
日(火)の2日間、教区本
部で開催された。

2年ぶりの同大会は、一
昨年と同様1泊2日での開
催となったが、オンライン
を利用しなかったため教区
で働く司祭・助祭たちのう
ち留守番などの諸事情で出
席が叶わなかった司祭を除
く34人が集った。

大会1日目は、福岡教区
のヨゼフ・アベイヤ司教を
講師に、日本カトリック司
教協議会が出した「性虐待
対応ガイドライン」につい
て、同ガイドライン作成に
至るまでの日本での歩みと
バチカンの取り組みなどを
多くの事例から学習した。
また鹿兒島での規程や事例
についても分かち合われ
た。研修後はミサがささげ
られ、その後は夕食をとり
ながらの交流のひとときと
なった。

大会2日目にあつたコン
ベンツスでは、2024年
度の年間行事予定が確認さ
れた。

この父よ」で始まります。
このように、イエスの願
いは、私たち人間が、イエ
スと天の父との密接な関係
の中に入る事なのです。そ
れはご自分が子として、天
の父からいかに愛されて
いるかを伝えたいからなの
です。それは、洗礼者ヨハ
ネの洗礼を受けた後の出来
事から分かります。

「そのとき、天がイエス
に向かって開いた。イエス
は、神の霊が鳩のように、
御自分の上に降って来るの
をご覧になった。そのと
き、『これはわたしの愛す
る子、わたしの心に適う
者』と言う声が、天から聞
こえた。」(マタイ3・16
-17)

これは、イエスが我が子
であるとの、天の父の認証
なのです。
イエスの側からすれば、
ご自分が、「天の父の子で
あることの自覚である」と
言えます。このような自覚
を、洗礼を受けた私たちも
共有できたら良いと思いま
す。

教区人事

▼郡山健次郎名誉司教(指
宿教会管理者)は、大熊
小教区管理者。

▼柘尾泰英神父(吉野教会
主任司祭)は、名瀬聖心
教会主任司祭。

▼鈴木康由神父(名瀬聖心
教会主任司祭)は、種子
島教会主任司祭。

▼朴鎮亮神父(種子島教会
主任司祭)は、指宿教会
主任司祭。

▼ファン・ミン・アン神父
(ザビエル教会協力司
祭)は、吉野教会主任司
祭。

※着任はいずれも4月7
日(復活節第2主日)



シドテイ神父の故郷を巡る(1)

事務局長補佐・枕崎教会 長野宏樹

昨年12月1日から9日まで、キリスト教禁教令下に屋久島に上陸(1708年10月)し、すぐに捕縛され江戸のキリシタン屋敷で、身の回りの世話をしていた長助とハルに洗礼を授けたために衰弱死させられたジョバンニ・バチスタ・シドテイ神父生誕の地を巡礼しましたので報告したいと思います。

東京教区の有志の皆さんが企画して「ローマ・シドテイ巡礼9日間」の企画が発表されました。

この企画は江戸の元和の大殉教400年目にあたり、江戸の殉教者の1人ジェロニモ・デ・アンジェリス神父の故郷シドテイのエンナで毎年「福者デ・アンジェリス祭」が開催されており、日本の巡礼団もそれに参加したいというのがこの企画の発端でした。

この機会に、江戸時代シドテイから来日した宣教師達(アダミ神父、キアラ神父、聖アンサローネ神父、シドテイ神父)の生誕地も訪問することになったものです。

巡礼は羽田発ローマ経由シドテイ行きでしたので、ローマではバチカン、サンタマリア・マジョレ教会、ラテラノ教会、ジェズ教会の巡礼でした。そのあとシドテイアへ移り、5人の宣教師たちの故郷を巡り、最後の地がシドテイ神父生誕の地パレルモでした。



アダミ家跡でささげたミサ

礼証明書があり、それには「日本で殉教した」と記述されていました。我々はそのアダミ家跡に建てられた文化センターでミサをささげました。そこで驚いたのが、アダミ神父は1633年10月22日、長崎の西坂で福者中浦ジュリアンと一緒に逆さ吊の刑で殉教している事でした。ミサ後、その主任司祭からアダミ神父の肖像画のコピーを渡され、「アダミ神父の列福運動を進めているので協力して欲しい」という申し出がありました。

面した四国より少し広い島です。歴史的には紀元前1000年位からの歴史を持ちギリシャ、ローマ、アラブ、ノルマン、フランス、スペインの支配を受けておりその名残の遺跡が多い島でした。

巡礼の順序は先述した5人の神父たちの名前の順でした。

1. マツザーラ・デル・ヴァッロ
ここはアダミ神父生誕の地であり、アダミ家の旧邸宅跡に建てられた旧イエズス会コレジオ跡が文化センターとして利用されています。隣接する司教館には肖像画が、また文書館には洗

一緒に殉教した中浦ジュリアンは188人の1人として列福されていますからアダミ神父も列福されるはずなのに、なぜ列福



アダミ神父の洗礼台帳

されなかったのか」と不思議に思いましたが、188人の列福は日本人だけを列福申請したため、アダミ神父が含まれなかったこの

はたちの祝福

今年も多くの若者が20歳を祝う「はたちの集い」に参加し、その自覚を新たにしましたが、ザビエル教会では



ガザ人道支援募金

＝カリタスジャパン＝

10月7日に始まったイスラエルとの敵対行為の激化以来、ガザ地区では少なくとも3千8百人が死亡し、1万3千人余りが負傷しています。国際カリタスから要請を受けたカリタスジャパンでは、「ガザ人道支援募金」の受付を決定しました。各小教区で集まった募金は、直接、カリタスジャパンに送金してください。募金受付口座は次の通り。

郵便振替：00170-5-95979
加入者名：宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン
※記入欄に「ガザ人道支援」と明記してください。

20周年を迎えたザビエル夜回りの会

永山幸弘神父がザビエル教会主任司祭時代の2004年1月に発足した「ザビエル夜回りの会」が今年の1月に20周年を迎えた。いわゆるホームレスと呼ばれる人たちに毎週土曜日の夜、食事をサーブし、また火曜日には体を清潔にするためシャワーの提供を続けるための歩みである。

活動の根底にあるのは、「ただ隣人になりたい」という今では亡き山田敏子さんの思いである。ホームレスの方々の健康を見守り、生活の質の向上のために働き続けた山田さんは、2017年6月に天に召された

が、その思いは現在活動しているスタッフたちに引き継がれている。ザビエル教会の協力のもとで活動を続けているその「夜回りの会」が協力を求めている。必要なものはいずれも男性用で、ジャンパー(春、秋、冬物)、ズボン(ウエストサイズ78〜90cm)、スニーカー(サイズ26〜28cm)。

代表の日高千夏代さんは、「皆さんの温かいご支援に支えられて20年が迎えられることができました。感謝です。頂きたい上着やズボン、靴などは使用可能であれば中古品でも助かります」と協力を呼びかけている。連絡は日高さんまで(TEL090-7396-0711)

あなたの声をお聴かせください。—もう、一人ではありません—子どもと女性の人権相談室

カトリック鹿兒島司教区
TEL090-3418-2729
受付時間：10時～22時(月～金)
※但し祝日を除きます。

創立50周年を記念

カリタス幼稚園

鹿兒島市紫原にある「カトリック・カリタス幼稚園」(シスター平山和枝園長)では創立50周年を迎え、1月31日(水)中野裕明司教らを引き記念式典を挙行した。イエスのカリタス修道女会(旧・宮崎カリタス修道女会)が経営母体となる同幼稚園は、1974年3月30日に設立認可を受け、同年4月10

日に第1回入園式を行った。この時の園児数は約60。園舎建築が遅延していたため、完成までの約2か月を隣接する紫原教会庭に設置されたプレハブを教室として利用したという。1982年には約200人の子どもたちが在園する幼稚園に成長し、その後は少子化の影響もあって園児数は減少しているものの(昨年12月末現在、在園児数84)半世紀の間、子どもに親に、そして地域に福音の種を撒き続けてきた。

+KABAYAN SEKSIYON+

Lahat ng Nasa Loob ng Simbahan, Pahayag ng Presensya ni Kristo

Sa buwan ng Marso ang pagnilay-nilayan natin ay ang tungkol sa Katesismo tungkol sa Liturhiya. Karamihan sa ating mga kapwa mananampalatayang Kristiyano Katoliko ay may mga bagay-bagay na hindi pa lubusan nalalaman at nauunawaan ang ginagawang liturhiya ng ating simbahan.

Kaya kung pag-uusapan ang kahalagahan ng simbahan para sa mananampalataya, ang unang nararapat na sang-ayunan ay ang pahayag na ang pina kamahalaga sa loob nito ay hindi nakikita ng ating mga mata.

Ito ay naging isang Tao: ang protagonista ng lahat ng nangyayari rito-si Hesukristo, ang Panginoong muling nabuhay na pagkatapos ng pagkamatay at pagkabuhay ay humantong sa kanyang kaluwalhatian at nangako sa atin: "Kasama ninyo ako sa lahat ng araw hanggang sa wakas ng panahon" (Mt.28.20).

Si Hesus ang nagtipon sa atin sa atin. Kinakausap niya tayo. Pinatatawad tayo. Binibigyan niya tayo ng pagkain. Siya ang naiwan sa santuwaryo. Natitipon tayo sa simbahan araw-araw o tuwing Linggo upang magdiwang, upang hayaan nating ibahagi niya sa atin ang kaligtasang nagmumula sa kanya.

Siya ang Guro, nag Namumuno, ang Pari, ang Nananalanagin, ang Gabay sa ating pagiging Kristiyano. Hindi natin siya nakikita. **Subalit lahat ng bagay sa loob ng simbahan ay nagpapaalala sa atin na naroon siya, buhay at sumasaatin.**

Hindi lamang mga bagay na ginagamit ang mga ito. Ang mga ito rin ay signo o sakramento ng kanyang nagliligtas na presensya. Ang lahat ng nasa simbahan ay mga bagay na nakikita na nagpapaalala o nagpapadama ng mga katotohanang hindi nakikita: higit sa lahat ng presensya ni Kristo.

Ang mga bagay na nakikita natin sa loob ng Simbahan, ay nagbibigay sa atin ng katunayan na si Kristo ay kasama natin.

Katesismo Tungkol sa Liturhiya (Fr.Dino Orolfo)

1月27日(土)午後、鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂で、鹿兒島教区修道女連盟主催による「奉獻生活者のためのミサ」がさげられた。ミサを司式したのは中野裕明司教と小隈憲士神父(ザビエル教会主任司祭・教区修道女連盟顧問司祭)の2人。

洗礼を受けた者の自覚を促す 奉獻生活者のためのミサで司教

午後2時に始まったミサには、本土地区で働く30人余りの修道女のほか約15人の信徒が参列した。小隈神父によるルカ福音書の朗読後に説教した中野司教は、「年に1度のこのミサにおいて修道者に世界や鹿兒島教区の現状を伝えることで、共に神の国の実現に進んでいきたい」と述べた上で、今年の教区目標「洗礼の恵みに気づき、それを生きよう」について解説した。



表司教会議第16回通常総会(シノドス)について、この会議がこれまでのものと違う(分かち合うことの大切を感じさせるものであった)ことを説明した中野司教は、「教会が信仰について発表することに間違いはありえない」としながらも、信じている信憑性が曖昧になってきている現状を憂いた。そしてイスラム教やユダヤ教とキリスト教の違いを知ること、カトリックの洗礼を受けた者がそれぞれの立場で自分たちのアイデンティティーを確認することの大切さを訴えた。ミサ後は、教会ホールで茶話会が開かれ、交流のひとつとかが持たれた。

イグナチオの霊操⑨

紫原教会主任司祭 貴島 丈弥

「不偏心」(3) 自由

三番目のパラメーターは、自分が他者との関係のうちで生き、過去から未来へと移る現在に生きる者として、肉体的、精神的、感情的に成長の過程にある一つの同じ自分であることを示します。

わたしたちは、経験を経る自分を通して、習慣、愛着、感情、態度、価値、意味などを個性として心理構造を獲得していき、その過程にあります。わたしたちは、自分という物質的にも時間的にも限られた肉体を通して外の世界(他者)の内生きています。

限られた存在でありながら永遠を理解しようと想いめぐらして自分のうちに概念化していくので、それぞれの個性が多様なかたちをとって生まれます。この私という唯一の個性を獲得していく過程、構造、段階をこのパラメーターは表します。

これら三つのパラメーターは人間の成長を知るための一つの要因ですが、もちろん、人間の成長の神秘をすべて説明できるものではありません。

不偏心にある人は、これらパラメーターとしての要因がその人の中で過不足なく見いだされる人で、健全に成長を遂げることができていく人とすることができません。

また、不偏心を別の言葉で自由と表現することができません。三つのパラメーターも自由さを計る要因でもあります。

カトリック教会のカテキズム1731には、「人間の自由とは、真理と善において成長し成熟する力なのです。自由はわたしたちの至福である神に方向づけられるとき、完成されたものとなります」とあり、またカテキズム1732には、「人間の自由意志が究極の善である神と完全に結

つまり「洗いと拭く」という言葉が隠喩のようになっていることから、イエス様は「わたしのしていることは、今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる」と言われたのではないかと考えられるのです(ヨハネ13・7)。

イエス様が弟子たちの足を洗ったこと、そして濡れた足を拭いたことは単なる状況描写のように思えるかもしれませんが、しかし原語と旧約聖書から考えるのであれば、そこには弟子たちが受難を迎えることになる



《康由神父の聖書教室》71 聖木曜日の洗足

「謙遜な態度をとり、腰を低くしてやって来て、用心して、彼を警戒せよ。彼に対するときは、鏡を磨くように自分を磨け。絶えず磨いていけば、彼のさび

分を信頼することを促していると考えられます。次に、後半部分での「ふき(拭き)」と訳された言葉に着目するとシラ書の一節が思い起こされます。そこに

もの苦難にあつても神様の護りに信頼すること、そして信仰がさび付かないように神様を心に写すが如く自分を磨き続けることを弟子たちに行いを以て論じているとも考えられます。私たちは弱い者です。こうしたことを聖書を読んで理解したとしても日常の思い煩いや難しい環境によって信仰は躓いてしまうものです。だからこそイエス様の復活に希望をおき、祈ることが大切なのです。



祈りの意向 【祈祷の使徒会】 教皇 新たな殉教者 日本の教会 性虐待被害者

日	祝祭・記念	時間
1日(金)	性虐待被害者のための祈りと償いの日	
3日(日)	四旬節第3主日	
5日(火)	みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時	
6日(水)	中野アカデミー・教区本部・13時30分	
9日(土)	川口茂助祭、石神秀人助祭叙階記念(2011年)	
10日(日)	聖書の分かち合い・教区本部・14時	
13日(水)	四旬節第4主日	
17日(日)	中野アカデミー・教区本部・13時30分	
17日(日)	教師の会黙想会・鴨池教会・15時	
19日(火)	田原章神父叙階記念(1953年)	
19日(火)	聖ヨセフ	
19日(火)	栃尾泰英神父霊名、タム神父霊名、サンタマリ	
20日(水)	ア神父霊名(聖ヨセフ)	
20日(水)	ゼローム神父命日(2003年)、牧山田一神父命日(2018年)	
20日(水)	父命日(2018年)	
20日(水)	久山神学生助祭叙階式・カテドラル・10時30分	
21日(木)	郡山健次郎名誉司教叙階記念(1972年)、永山幸弘神父叙階記念(1968年)、寝占敦之神父叙階記念(1983年)、鄭法鍾神父叙階記念、宋診旭神父叙階記念(2013年)	
21日(木)	叙階記念、叙階記念(1988年)、末吉卓也神父叙階記念(2003年)、石田望神父叙階記念(2003年)、池上利男助祭(2018年)	
22日(金)	山浦義春神父叙階記念(2003年)	
22日(金)	池上聖行助祭命日(2022年)	
23日(土)	聖書の分かち合い・教区本部・14時	
24日(日)	受難の主日(枝の主日)	
25日(月)	山口好信神父叙階記念(1991年)	
25日(月)	泉浩二神父叙階記念(1993年)	
26日(火)	聖香油ミサ・カテドラル・11時	
27日(水)	中野アカデミー・教区本部・13時30分	
27日(水)	ピンセント神父命日(2021年)、コンタリ	
28日(木)	二神父命日(1998年)	
28日(木)	聖木曜日(主の晩餐)	
29日(金)	明松尊吉神父命日(1992年)	
29日(金)	聖金曜日・主の受難(大斎・小斎)	
29日(金)	聖地のための献金	
30日(土)	内野洋平神父叙階記念(2003年)	
30日(土)	美島春雄神父命日(2016年)	
30日(土)	聖土曜日	
31日(日)	復活の主日	
31日(日)	河野純徳神父命日(1989年)	
【司教日程】	6、8日 常任司教委員会(東京)、6日 中野アカデミー、12日 韓司教会議、13日 中野アカデミー、26日 聖香油ミサ、27日 中野アカデミー、30日 復活徹夜祭(カテドラル)	

教区評議会の10月開催など

2024年度の教区行事決まる

- 4月
 - 4日(木) 中野司教のアドリミナ(イタリア)・14日まで
- 5月
 - 14日(火) 教区司祭会
 - 28日(火) 司祭評議会
- 6月
 - 3日(月) 3教区司祭黙想会・大分・7日まで
 - 16日(日) 奄美の宣教司牧を考える会
 - 18日(火) 奄美司祭会
 - 25日(火) コンベンツス
- 7月
 - 7日(日) ブイジュ祭
 - 9日(火) 教区司祭会
- 8月
 - 1日(木) アルフォンソ祭
 - 6日(火) カトリック平和旬間・15日まで
 - 14日(水) 聖コルベ祭
 - 15日(木) キリスト教伝来記念祭・カテドラル
- 9月
 - 20日(火) 司祭評議会
- 10月
 - 13日(日) 教区評議会・14日まで
 - 23日(水) 長崎教会管区司教・司教・総代理・事務局長会議
- 11月
 - 3日(日) 死者のためのミサ(カトリック唐湊墓地及び名瀬納骨堂前広場)
 - 5日(火) 教区司祭会
 - 17日(日) 福者レオ七右衛門殉教祭(川内教会)及び奄美の宣教司牧を考える会
 - 19日(火) 奄美司祭会
 - 23日(土) シドッチ祭
- 12月
 - 3日(火) コンベンツス及び教区司祭会
 - 15日(日) 奄美宣教再開記念ミサ(カテドラル)
 - 25日(水) 主の降誕祝い及びコンベンツス
- 1月(2025年)
 - 20日(月) 司祭大会
 - 21日(火) コンベンツス
- 2月
 - 16日(日) 奄美の宣教司牧を考える会
 - 18日(火) 奄美司祭会
 - 25日(火) 教区の日
- 3月
 - 4日(火) 教区司祭会
 - 5日(水) 灰の水曜日
 - 11日(火) 司祭評議会

聖金曜日には「聖地のための献金」を!

14世紀中ごろ、教皇クレメンス6世は、パレスチナ各地の巡礼所とヨーロッパからの巡礼者保護をフランシスコ会に委託しました。その後、政情不安定な聖地で苦勞している修道者たちを支えるために行われるようになった献金は、いつのころからか主の受難と死を記念する聖金曜日にささげられるようになりました。そして教皇レオ13世は1887年、カトリック教会のすべての小教区にこの聖地のための献金を命じました。

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などの資金として使われています。

鹿兒島キリスト教一致祈禱会

1月21日(日)午後3時より日本聖公会の鹿兒島復活教会(鹿兒島市西田2丁目)にて、カトリックとプロテスタントの信者が集まり、キリスト教一致祈禱会が開催された。これはキリスト教一致祈禱週間に合わせて毎年カトリックとプロテスタントが交互に会場を提供して行われている祈りの集いで、今年は48人が参加した。カトリックからの参加者は鹿兒島市内の信者を中心に25人で、教区エキュメニズム担当の霧島神父のほか、祈禱神父(吉野教会)、また純心聖母会とレデンプトール宣教修道女会のシスターの姿もあった。



祈禱会後は同教会のホールにて簡単な茶話会もあり、キリスト者同士の歓談と交わりのひとときとなった。来年の祈禱会はカトリックの担当で行われる予定。

能登地震「災害 緊急支援募金」受付中
送金先はカリタスジャパンと名古屋教区

1月1日(月)発生した能登地震では、石川県で240人の死者、新潟、富山、石川、福井の各県で1200人を超える負傷者が出たほか、一部損壊を含め家屋被害も3万に達し、1万4千を超える人が避難生活を続けている(2月5日現在)。被災地では水道や浄水設備が損傷し水が使えないほか、停電が続いている地域もあるという。

また教会内支援(教会の修復や被災信徒への見舞金)などを希望する場合は、被災当該教区である名古屋教区への送金となっている。振込先は以下の通り。

- 《振込先》
郵便振替番号・00810-5150605
加入者名・カトリック名古屋教区
※通信欄に「のと地震」と明記のこと。
- 《振込先》
郵便振替番号・0017



要理

イエス様がどのように人間とかわつてくださったのか新約聖書に基づいて簡単にさらって

を私生活と呼びます。福音書にはイエス様は30歳の頃に現われて、洗礼者ヨハネから洗礼を受け、荒野に退いて40日間断食をし、十二使徒を選び、約3年間にわたって福音を宣べ伝えたと書かれています。この聖書に書

御業によって神様と人間との本来の関係が回復され、人間は永遠の命に向けて開かれたのです。つまり人間の歩みが神様の永遠へと向きを変えたということです。神様はイエス様を死んだままにしておかれませんでした。3日目に

復活とは神様の御業のこと

みましよう。イエス様は今からおおよそ2000年前にお生まれになりました。これにより時代が新しく変わりました。その後、30歳の頃までナザレという町で両親に従って大工の仕事に従事なさいました。イエス様の時代は男性なら父親の仕事に継ぐのが習慣であったことからこのように考えられています。この頃までのこと

かれています。公生活と呼びます。神様は人間を救うためにイエス様をこの世に遣わされました。イエス様は多くの苦しみと十字架の上での死をすすんでお受けになることにより自らの命と人間の救いを引き換えてくださったのです。これを「贖い」といいます。この贖いの

復活と呼んでいます。復活とは死者が蘇ったことではありません。無から有を創り出した神様が新しい永遠の命をお与えになったということです。また旧約の伝統に於いて神の御業が現れるのは3日目であることも忘れてはなりません。つまり復活とは神様の御業なのです。